

令和6年度（2024年度）

学校運営自己評価・学校関係者評価 報告書

武雄看護学校 看護科・准看護科

評価対象期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日

## 1. 学校運営評価の目的

看護師等養成所として教育水準の維持・向上と創意工夫のある教育の追及を図るため、学校運営評価について必要な事項を定め、評価結果を活用して教育を改善していくことを目的とする。

## 2. 学校評価委員

学校委員氏名	所属
太田 光博	武雄看護学校 学校長
檜崎 史彦	武雄看護学校担当理事
草野 謙一郎	武雄看護学校担当理事
山口 聡子	武雄杵島地区医師会 事務局長
末藤 智子	武雄看護学校 副学校長
吉川 優紀	武雄看護学校 看護科 教務主任
平川 千里	武雄看護学校 准看護科 教務主任
西 涼子	武雄看護学校 看護科 教務副主任
古賀 悠華	武雄看護学校 事務

## 3. 学校関係者評価委員

学校関係者評価委員	所属	区分
持田 和幸	医療法人敬和会 持田病院 副院長	医師会担当理事
重村 剛	重村医院 院長	医師会担当理事
渡邊 成樹	佐賀県立武雄青陵中学校	教育に関する
松尾 竜一	医療法人整肢会 副島整形外科クリニック	卒業生
小野原 大介	白石保養院	卒業生

## 4. 自己評価基準

各項目の達成度により、下記の5段階で自己評価する。

5（よい）：9割

4（ややよい）：7割

3（普通）：5割

2（やや不十分）：2割

1（不十分）：1割

## 5. 学校関係者評価方法

自己評価の評価尺度（5段階）に対して、評価が適切か不適切かを評価する。

## 6. 学校運営評価（自己評価）の内容

- I.教育理念・教育目的
- II.教育目標
- III.教育課程
- IV.教授・学習・評価課程
- V.経営・管理運営
- VI.入学
- VII.卒業・就業・進学
- VIII.地域社会/国際交流

### 項目Ⅰ 教育理念、教育目的

---

---

#### 総括

教育課程は、学校の使命である地域で活躍できる看護師・准看護師の育成を軸に、国が求める思考力・創造力を備えた看護職を育成する内容を主軸とし、取り組んでいる。

#### 課題・改善策

引き続き、理念に基づく学習支援に努める。

#### 小項目 Ⅰ-1

学習内容は、教育理念・教育目標と一貫性があり、社会の要請に応える内容になっているか。

■自己評価： 4 ■；学校関係者評価：適合

### 項目Ⅱ 教育目標

---

---

#### 総括

教育目標は学生便覧・実習要綱に明文化し、その内容については入学時オリエンテーションや実習オリエンテーションを通して学生へ説明している。教育

目標の到達度については、終講試験や技術試験、実習評価、学校での生活に関することを教員間で共有し、課題がある学生に対してはその都度支援を行っている。卒業時の到達度については、卒業判定に関わる科目の履修のみで評価を行っている。

#### 課題・改善策

学年別の到達目標を新たに設定した。しかし、学生に周知したうえでの運用には至らなかった。次年度は、到達目標を学生へ周知し、中間、最終の評価を行っていく。

#### 小項目 II-1

卒業時において持つべき看護師・准看護師の資質を、教育目標に明示しているとともに、卒業時の到達状況を分析しているか。

■自己評価： 4 ■；学校関係者評価：適合

### 項目III 教育課程

#### 総括

実習指導者と教員の役割に関しては実習要綱に明文化されており、実習指導者に周知を図り実践している。また、実習要綱は、毎年全領域の見直しを行っている。実習開始の約1カ月前には実習相談会を行い、終了後には反省会を実施している。日々の実習においても、学生の現状、指導に関して各病棟・施設の指導者と教員間で話し合いながら指導を行っている。

実習指導体制強化については、「学生にとっての臨地実習 教員・指導者の役割」をテーマに研修会を開催した。事後アンケートによると、指導者の学びにつながり、また教員と指導者の役割を互いに確認できた。

実習要綱の中で、実習病院同意書の運営・管理および実習同意書に、受持ち患者に対する倫理的配慮について明示しており、その内容に添って運用できており、受持ち患者様から実習中および実習終了後も倫理的な事柄に関連した苦情の申し立てはなかった。

実習中はカンファレンス前にインシデントの有無について確認し、インシデントが生じた場合はその場で報告する事で教員・指導者・学生間でインシデント事例を共有している。学生が起こしたインシデントやアクシデントについては、速やかにヒヤリハット報告書に記載し、今後の防止策まで検討し教員間及び学生間で共有を行っている。また実習前後の安全教育については、実習まとめの時間を活用し、振り返りを実施している。

「ICTを活用した授業」と「多様な学生に対する指導と支援の実際」をテーマとして教員研修を実際した。90%以上の教員が参加できた。

地域連携室にて2名の教員が臨床研修を行った。また、2名の教員の授業参観を行い、意見交換をすることで授業改善につながった。

### 課題・改善策

令和7年度は、看護科も新たなカリキュラムで学習を開始した学年が卒業を迎える。それに伴い、各学年の到達目標を見直し、学生の試験結果・授業評価、技術の到達度、また講師、実習指導者の評価をもとにカリキュラムの評価・見直しを行う。

#### 小項目 III-1

実習目標が達成されるよう実習環境が整備されているか。

■自己評価： 4 ■；学校関係者評価： 適合

#### 小項目 III-2

実習指導者と教員の役割を明確にし、互いに協力し実習指導にあたる体制があるか。

■自己評価： 4 ■；学校関係者評価： 適合

#### 小項目 III-3

実習時の患者への倫理的配慮を励行しているか。

■自己評価： 4 ■；学校関係者評価： 適合

#### 小項目 III-4

実習時のインシデントアクシデント等を分析し、学生指導に活かしているか。

■自己評価： 4 ■；学校関係者評価： 適合

#### 小項目 III-5

学校の抱えている課題を踏まえた職場内研修を行っているか。

■自己評価： 4 ■；学校関係者評価： 適合

#### 小項目 III-6

学会または研修等に参加した成果を他の教職員に還元する仕組みがあるか。

■自己評価： 4 ■；学校関係者評価： 適合

#### 小項目 III-7

教員が計画的に臨床看護研修に参加できるよう支援しているか。

■自己評価： 4 ■；学校関係者評価： 適合

### 小項目 III-8

教員の授業を他の教員が参観、講評できる制度があるか。

■自己評価： 4 ■；学校関係者評価： 適合

## 項目IV 教授・学習・評価過程

---

### 総括

授業計画（シラバス）は各科目ごとに作成しており、ホームページ上で閲覧できるようになっている。

看護科・准看護科の両科共に2カ月以上前に学生はタブレット上で時間割表の確認がとれるようにしている。また、勤務表を作成する施設宛での時間割も配布している。急な予定変更は、HR等で事前に伝えるように工夫している。

授業評価の分析や指導方法の改善は、各領域担当で実施している状況である。授業公開の参観は、全教員が2回または1回できている。

単位取得や科目履修の条件は、講義開始時から学生に周知し説明している。技術演習や実習の評価基準については、年度始めに検討・修正を継続していく。

外部講師を含めた授業評価アンケートの実施ができている。アンケート結果は教員の授業改善に活用しているが、外部講師の評価は希望に応じて開示しており、全ての授業において改善に努めているといえない。

### 課題・改善策

各領域別及び課程別での授業案や実習指導案の検討が必要である。教育目標と科目目標を達成していくために、授業計画の段階で意見交換を行い、講義内容と授業形態を設定していく。

### 小項目 IV-1

授業計画が作成され、教育課程との整合性があり、学生が授業内容を理解できるようにしているか。

■自己評価： 4 ■；学校関係者評価： 適合

### 小項目 IV-2

効果的な授業運営を図るため、適切に時間割を調整しているか。

■自己評価： 4 ■；学校関係者評価： 適合

### 小項目 IV-3

授業内容や指導方法が学生レベルにあうよう工夫・改善しているか。

■自己評価： 4 ■；学校関係者評価： 適合

#### 小項目 IV-4

(看護科)

学生の単位取得にむけた支援を実施しているか。

■自己評価： 4 ■；学校関係者評価： 適合

(准護科)

全科履修に向けた支援を実施しているか。

■自己評価： 3 ■；学校関係者評価： 適合

#### 小項目 IV-5

学生に修了認定のための評価基準と方法を公表しており、かつ、評価について公平性・妥当性が保たれているか。

■自己評価： 4 ■；学校関係者評価： 適合

#### 小項目 IV-6

学生による授業評価及び教員の自己評価を実施し、授業の改善に努めているか

■自己評価： 4 ■；学校関係者評価： 適合

### 項目 V 経営・管理運営

---

#### 総括

令和4年度より教員の配置を担任制から担当制にしている。また、講義の担当に関しては、可能な限り領域別の人員配置を行っている。定期的に課程別の教務会議や全体会議を開催し、重要事項の検討及び共通認識の場としている。

受験応募者数の確保に向けてオープンキャンパスや高校訪問、進路ガイダンスに取り組んでいるが、参加者は年々減少している。医師会立の看護学校として、地域で活躍する看護師・准看護師の育成を軸とした目標を設定し、教職員の共通理解を図って取り組んでいる。今後、学校のビジョンを見据えた組織目標を明確にする必要がある。

看護師国家試験および准看護師資格試験合格に向けて、対策委員を設け全員合格に向けて臨んでいる。模擬試験、外部講師及び教員による特別講義の実施、個別対応により学習支援を強化している。令和6年度の看護師国家試験合格率96%と准看護師資格試験の合格率100%の結果になった。

入学時オリエンテーションで学費の減免に関する特待生制度、経済面で修学困難者には育英金・奨学金制度について説明し学校継続ために奨学金の活用を促している。

学生の学校生活・学習・実習などで気になる学生は、面談を行い必要時カウンセリングを勧めている。現在カウンセリングは月に2回実施日を設けており、学生掲示板で告知し朝のHRで、さらに紹介している。カウンセリングを受ける

際には、プライバシーに配慮した専用の部屋を用いて実施している。

予算計画、年間事業計画に基づき適切に行っている。必要時は学校運営会議や理事会等で協議している。

個人情報保護に関しては、学則・細則及び実習要綱の中で規定を明文化している。個人情報漏洩につながるような事案があった場合は、学生と教員はハラスメント教育を全教職員が受講しハラスメント防止に関する考え方や持つべき姿勢、防止策について学んだ。今後は、ハラスメントを未然に防ぐために、倫理委員会を設置し、定期的な実態調査や専門家による研修が必要である。

行政の指導のもと危機管理マニュアルは作成している。マニュアルの内容は問題なく実施ができています。

学生の意見や要望を運営に反映していくために『学生の声』のシステムを活用している。『学生の声』により寄せられた意見や要望は、運営委員会や教務会議を通して対策を講じている。また、『学生の声』に寄せられた意見・要望は、1回／月学生に公開し改善策を提示している。

指導ガイドラインに沿って、教材・施設設備の環境は整備を行っている。Wi-Fi環境を活用しタブレットを用いた個人ワークやグループワークに取り組んでいる。また、臨床判断能力を身に付けるために、アセスメントモデルを揃え看護技術の演習に取り組んでいる。

講義や実習に必要な文献の選択や活用方法は支援を行っている。利用促進のための情報提供のため、学習環境充実委員会を中心に新刊案内等の情報発信を行っている。

演習を行うために実習室に必要な面積・指導ガイドラインに定められた備品・物品を整備・確保し活用している。また年に2回定期備品点検を行っており、不足分は随時補充できている。経年劣化している備品などは、計画的に購入計画を立て購入し演習に支障が無いように行っている。学生の技術演習に関しては、登校日に限らず実習室を開放しており、学生の希望する日に演習ができるよう、技術チェック等が両科で重なる時期には練習計画を立て、有効に利用できるよう調整している。

ホームページを中心とした広報活動を行っている。入試情報、カリキュラム、学校生活の動画等、受験生が求める内容を掲載できている。また、学生募集のポスターを作成し、医療機関、高校、近隣施設へ配布した。卒業生からの相談等には個別に対応している。

## 課題・改善策

新たな取り組みとして、令和7年より『合理的配慮を必要とする学生の支援』について規定を作成し、運営を開始する。学生には、事前に説明を行い、対象者の申請をうけて、必要な配慮についての計画を立て、対象の学生と保証人へ十分な説明を行ったうえで取り組んでいく。

---



#### 小項目 V-1

学校のビジョン及びそれを実現するための組織目標を策定しており、かつ、その目標が教職員に理解されているか。

■自己評価： 4 ■；学校関係者評価： 適合

#### 小項目 V-2

学校運営評価を組織的に実施し、評価結果を教職員に周知するとともに、外部にも公表しているか。また、評価結果をもとに改善計画を策定しているか。

■自己評価： 4 ■；学校関係者評価： 適合

#### 小項目 V-3

管理職のリーダーシップのもと、両科主任がそれぞれの部署をまとめチーム力を発揮し問題解決に当たっているか。

■自己評価： 4 ■；学校関係者評価： 適合

#### 小項目 V-4

より多くの応募者を確保することに努めているか。

■自己評価： 4 ■；学校関係者評価： 適合

#### 小項目 V-5

国試・資格試験の合格率が100%となるよう、教職員一丸となって取り組んでいるか。

■自己評価： 4 ■；学校関係者評価： 適合

#### 小項目 V-6

経済的、精神的側面からの学業継続支援体制が整い、効果的に活用しているか。

■自己評価： 4 ■；学校関係者評価： 適合

#### 小項目 V-7

学生の身体的側面の健康確保に努めているか。

■自己評価： 4 ■；学校関係者評価： 適合

#### 小項目 V-8

予算計画、年間事業計画を策定し、適正な予算の執行・進行管理を行っているか。

■自己評価： 4 ■；学校関係者評価： 適合

小項目 V-9

学生や教職員等の人権・個人情報の保護について十分な対策がなされているか。また、学生、教職員に対しそれらの徹底を図っているか。

■自己評価： 4 ■；学校関係者評価： 適合

小項目 V-10

災害など非常時の危機管理体制が整備されているか。

■自己評価： 4 ■；学校関係者評価： 適合

小項目 V-11

学校運営に学生の意見が反映されるように努めているか。

■自己評価： 4 ■；学校関係者評価： 適合

小項目 V-12

施設・設備の安心・安全が確保されているとともに障害者の利用に配慮された構造になっているか。

■自己評価： 4 ■；学校関係者評価： 適合

小項目 V-13

教育目標達成に必要な施設設備及び教材が整っているか。また学生の自主的な学習の場が確保されているか。

■自己評価： 4 ■；学校関係者評価： 適合

小項目 V-14

学生のための福利厚生施設・設備は整っているか。

■自己評価： 4 ■；学校関係者評価： 適合

小項目 V-15

図書室は利用しやすく学生に十分活用されているか。

■自己評価： 4 ■；学校関係者評価： 適合

小項目 V-16

実習室は学生数に応じたスペースが確保され、必要な備品設備が整い、十分にその機能を果たしているか。

■自己評価： 4 ■；学校関係者評価： 適合

小項目 V-17

学校の存在を周知するため、積極的な広報活動をしているか。

■自己評価： 4      ■；学校関係者評価：適合

## 項目VI 入学

---

### 総括

入学前説明会を1月～3月にかけて、各科2回ずつ実施した。入学前課題についても事前に提示し、入学後の学習に備えることができている。新入生には早い段階で個人面談を計画し、支援が必要な学生の把握に努めている。

### 課題・改善策

引き続き、入学後の学習や生活に不安や支障が生じないように支援を続けていく。

### 小項目VI-1

入学生への支援を行っているか。

■自己評価： 4      ■；学校関係者評価：適合

## 項目VII 卒業・就業・進学

---

### 総括

卒業生のホームカミングデイ・リカレント教育については開催できていない。卒業生が必要とする就職や卒後のキャリア開発については個別で支援、相談などは随時行っている。

学生の就職に関しては必要に応じて対応している。医師会立の看護学校の設置目的を再確認しながら、地域で活躍できる看護職の育成に努めていきたい。また、入学者向けの県内就職案内一覧は入学時オリエンテーションにて案内し、希望者が閲覧できるように整えている。在校生に向けては、県内就職案内が閲覧できるよう掲示している。

### 課題・改善策

リカレント教育の実施に向け、計画・運営を行う。また、就職に関しては地域の医療機関と連携をはかりながら学生支援に務める。

### 小項目VII-1

卒業生への支援を行っているか。

■自己評価： 4      ■；学校関係者評価：適合

### 小項目VII-2

卒業生の県内就職率を高めるよう努めているか。

■自己評価： 4 ■；学校関係者評価： 適合

### 小項目VII-3

進学、就職などの進路に関して学生の相談に十分応じているか。

■自己評価： 4 ■；学校関係者評価： 適合

## 項目VIII 地域貢献

---

### 総括

佐賀県で開催された『全国障害者スポーツ大会』に競技者の支援として学生ボランティア活動に取り組んだ。11月には開校初めてとなる学校祭を開催した。多くの住民の方や、卒業生に参加いただき好評をいただいた。

### 課題・改善策

学校祭の開催やフィールドワークを通して地域住民との交流を図る。また、校外の清掃活動を積極的に行き組み、地域貢献につなげたい。

---

### 小項目VIII-1

地域社会の一員として、地域への貢献・奉仕活動・連携の工夫を行っているか。

■自己評価： 4 ■；学校関係者評価： 適合